

平成 30 年 12 月月例記者会見

1. 記者会見

【 説明 】

〔ファンドレイジング入門講座〕

市長 年末の大変お忙しいところお集まり頂きましてありがとうございます。ファンドレイジングの講座ですが、環境モデル都市推進課が中心となって行います。

生駒市では、市民活動に対しては豊富なメニューで支援しておりますが、活動を持続的に行っていくには、お金の部分が必要になってきます。資金調達にはクラウドファンディングや各金融機関の支援などいろいろありますが、自らお金を集めるいろんな手法を学ぶ入門講座を今回企画いたしました。

日時は来年の 1 月 14 日に市役所で行い、講師は河合さんです。ファンドレイジングは、昔と比べていろんな手法が増えてきて、寄付を募る、募金、チャリティグッズを制作、企業からの支援、物品の寄贈、遺贈などいろいろあります。そういった手法を教えていただきながら、市内でいろんな活動する。ボランティアに留まらず、きちんとお金を得てより一歩進んだ形でまちづくりに参加していただくというものです。

環境モデル都市推進課が行いますが、市民活動推進課、市民活動推進センターららポートとも連携しながら、環境という切り口で行いますが、環境エネルギーに限らない団体の参加もできると考えています。詳細は環境モデル都市推進課までお問い合わせください。

【 質疑応答 】

〔ファンドレイジング入門講座〕

記者 ファンドレイジングはどういった発想、経緯ですようになりましたか。

市担当者 環境モデル都市推進課で担当しておりますが、現在第 3 次環境基本計画を策定している中で、そのキーになるのが市民力でして、もう一つは、国際的な状況もありますが、環境だけではなく環境を切り口に社会や経済の課題を解決する考え方 SDGs の視点もありますし、環境施策を市民の方や事業者の方といっしょに推進していくために、今までになかった発想や手法で市民力を高めて頂きたいというねらいがあります。環境に携わってくださる市民の方の参加してもらえる層を拡大したいとも考えています。

記者 ファンドレイジングはあまり聞き慣れないのですが、なぜこれに目をつけたのですか。

市担当者 活動者の立場になったときに、お金がないからやりたいことができないということで断念するケースが多いのではないかと思いましたので、今後の重要な課題となってくると考えましたので。

記者 目的は環境をメインに考えられているということですが。

市担当者 担当課の目的は環境分野での活動の拡大ですが、この入門講座事体は、環境には特化しておりませんので、どのような分野で活動されている方でもご参加頂けますし、役に立つ情報になっております。

記者 この講座はめずらしいですか。

市担当者 本市におきましては、ファンドレイジングということではないのですが、資金調達のコツを教えてもらうような講座としては、市民活動推進センターで平成 27、28 年度に実施しております。

県内では、奈良市の社会福祉協議会主催で資金作りのノウハウということで、NPOやボランティア団体の基盤強化のためセミナーを実施されています。

(了)